

》 文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」

# 実務家教員育成研修プログラム 実施4拠点統一指標による研修プログラム評価 第2回結果速報

2024年3月5日

文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」運営拠点  
代表校（事務局）：東北大学 高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター

#### 4 拠点統一指標による研修プログラム評価 目次

1	取組概要.....	1
1.1	本取組の背景.....	1
1.2	調査対象と調査項目.....	1
2	4 拠点統一指標による修了者アンケート調査.....	3
2.1	調査対象・方法.....	3
2.2	調査結果の概要.....	3
3	調査結果の考察.....	15
	参考文献.....	17

# 1 取組概要

## 1.1 本取組の背景

本取組は、文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」<sup>1</sup>（以下「事業」という）における研修プログラムの質保証に資する統一指標を開発し、これを用いて研修プログラムの評価を行うものである。

本統一指標開発の背景には、2022年6月に実施された文部科学省「行政事業レビュー」<sup>2</sup>での指摘がある。この経緯や、指標開発のプロセスについては、『実務家教員育成研修プログラム実施4拠点統一指標による研修プログラム評価報告書（2023）』を参照されたい。

## 1.2 調査対象と調査項目

本取組の対象とする4つの事業（中核拠点）を表1に示す。また、作成した統一評価指標の調査項目を表2に示す。

表1. 文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」における4つの中核拠点

拠点・研修プログラム名称	提供校
創造と変革を先導する産学循環型人材育成システム 「産学連携教育イノベーター育成プログラム」	東北大学、熊本大学 大阪公立大学、立教大学
PBL と多職種連携を活用した進化型実務家教員養成プログラム構築事業 「進化型実務家教員養成プログラム」	名古屋市立大学、岐阜薬科大学 高知県立大学、中京大学
実務家教員 COE プロジェクト 「実務家教員養成課程」	社会構想大学院大学、日本女子大学 武蔵野大学、事業構想大学院大学
KOSEN 型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築 「実務家教員育成研修プログラム」	舞鶴工業高専、福島工業高専 長岡工業高専、福井工業高専 香川高専、放送大学

<sup>1</sup>大学等において、個別の企業や業界を超えたオープンイノベーションを促進するため、社会人の学び直しも含め、産学がともに人材育成に主体的に参画し、実践的な産学共同教育の場やプログラムを提供するために不可欠な実務家教員（専攻分野における実務の経験及び高度の実務の能力を有する教員）の質・量の充実に資する取組を支援することを通じて、アカデミアと社会を自由に行き来できる学びと社会生活の好循環を醸成し、もって、中長期的かつ持続的に社会の要請に応えることができる産学共同による人材育成システムを構築することを目的とした事業（文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業 公募要領」[https://www.mext.go.jp/content/20220125-mxt\\_senmon02-000019852\\_8.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20220125-mxt_senmon02-000019852_8.pdf)、2024年2月29日確認）

<sup>2</sup>各府省自らが、実施している全ての事業を対象に、レビューシートを作成し執行状況を公表するとともに、外部の視点を活用しながら事業の点検を行い、結果を予算の概算要求や執行の改善に反映させる取組（文部科学省「行政事業レビュー」[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kouritsu/detail/1334066.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kouritsu/detail/1334066.htm)、2024年2月29日確認）

表2. 4 拠点統一指標による研修プログラム評価のための調査項目

領域	項目
学習レディネス	1. 受講前に、これから受講する研修プログラムの必要性を感じていた
	2. 受講前に、どのような目的で研修プログラムが実施されるのか理解していた
実践意思	3. 受講後、研修プログラムで学んだことを職場や教育現場等で実践する機会を作ろうと努力した
	4. 受講後、研修プログラムで学んだことを職場や教育現場等で実践する機会があった
	5. 受講を契機に、高等教育機関等でのキャリア・チェンジに向けた動きを始めた又は本格化した
研修メンバー	6. 受講中、一緒に参加した受講生から学んだことがあった
	7. 受講中、一緒に参加した受講生は自分の学習意欲により影響を与えた
受講環境	8. 研修プログラムに積極的に参加できた
	9. 受講中は、思っていることを自由に発言できる雰囲気であった
実践レディネス	10. 受講により、高等教育の現状についての知識が増えた
	11. 受講により、授業設計や運営に必要なスキル・知識が身についた
	12. 受講により、高等教育に対して関心が向くようになった
成長意欲	13. 今後も継続して、知識やスキルを修得したり能力を高めて、成長したいと思っている
	14. 今後も継続して、高等教育についてもっと学びたい、研究したいと思っている
研修マッチング	15. 受講中、自分のキャリアにとっていいタイミングで受講していると思った
	16. 受講中、研修プログラムの難易度は自分に適したレベルだと思っていた
	17. 受講中、研修プログラムは自分が学びたいと思っていた内容だった
	18. 研修プログラムの受講は、有意義だった
	19. 研修プログラムでの学びや経験は、今後の学習や活動に役立つと思う
職場への影響	20. 研修プログラムで学んだ知識やスキルには、現在の職場においても活用できるものがあった
	21. 研修プログラムに参加したことで、現在の仕事に何らかのプラスの影響があった
研修後交流	22. 受講後、他の受講生と研修内容に関する情報交換を行った
	23. 受講後、他の受講生と研修内容以外の情報交換を行った

## 2 4 拠点統一指標による修了者アンケート調査

### 2.1 調査対象・方法

本調査は、4 拠点が合同で開発した統一指標を用いて各研修プログラム修了者を対象としたアンケート調査を実施し、研修プログラムの評価、改善に活かすことを目的としている。

調査対象は各研修プログラム修了者（2023 年度）とし、各拠点からメールにて回答を依頼した。アンケートフォームは Google Forms を利用して構成し、修了者に回答 URL を周知した。調査期間は 2024 年 1 月 28 日～2 月 20 日とした。

調査冒頭で回答者の属性に関する項目（修了プログラム名、修了年度、性別、年代、業種、職種、役職）を設定したうえで、表 2 に示した質問項目について「そう思う／ややそう思う／どちらともいえない／ややそう思わない／思わない」の 5 件法で回答を得た。

### 2.2 調査結果の概要

本調査の回答数は 155 件、回答率は 66.0%であった（表 3）。

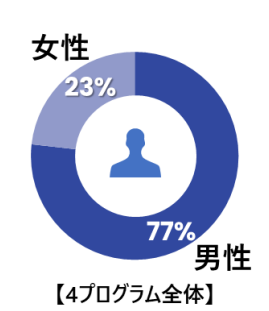
表 3. 修了者アンケート調査の回答数

プログラム名	修了者数	回答者数	%
産学連携教育イノベーター育成プログラム (東北大学等)	106	83	78.3%
進化型実務家教員養成プログラム (名古屋市立大学等)	20	19	95.0%
実務家教員養成課程 (社会構想大学院大学等)	100	45	45.0%
実務家教員育成研修プログラム (舞鶴高等専門学校等)	9	8	88.9%
合計	235	155	66.0%

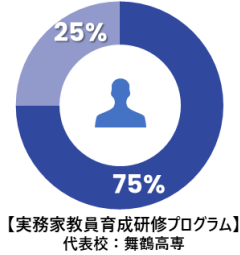
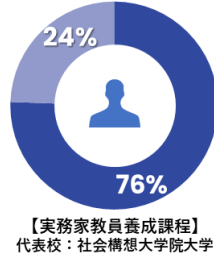
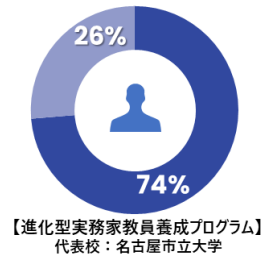
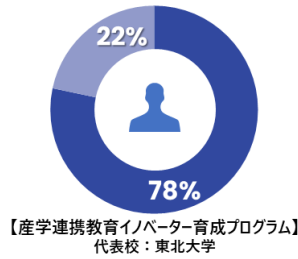
回答者の属性と各項目への回答の単純集計結果を拠点ごとにまとめた図表を以下に示す。

5 件法で回答を得た項目については、「そう思う」を 5 点～「そう思わない」を 1 点として集計し、平均値を得た。

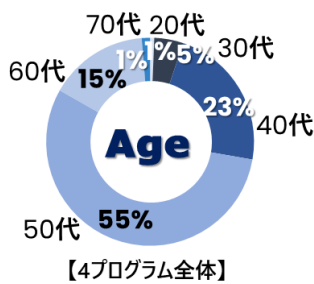
## 回答者属性：性別



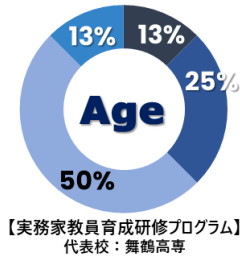
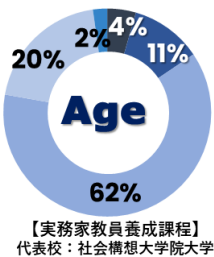
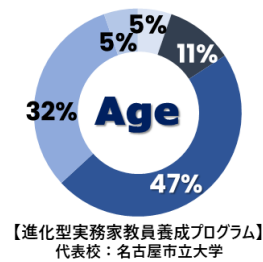
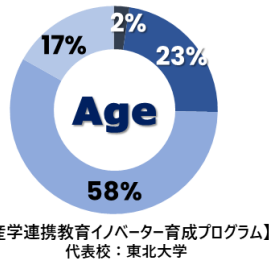
	男性	女性	合計
東	65	18	83
名	14	5	19
社	34	11	45
舞	6	2	8
合計	119	36	155



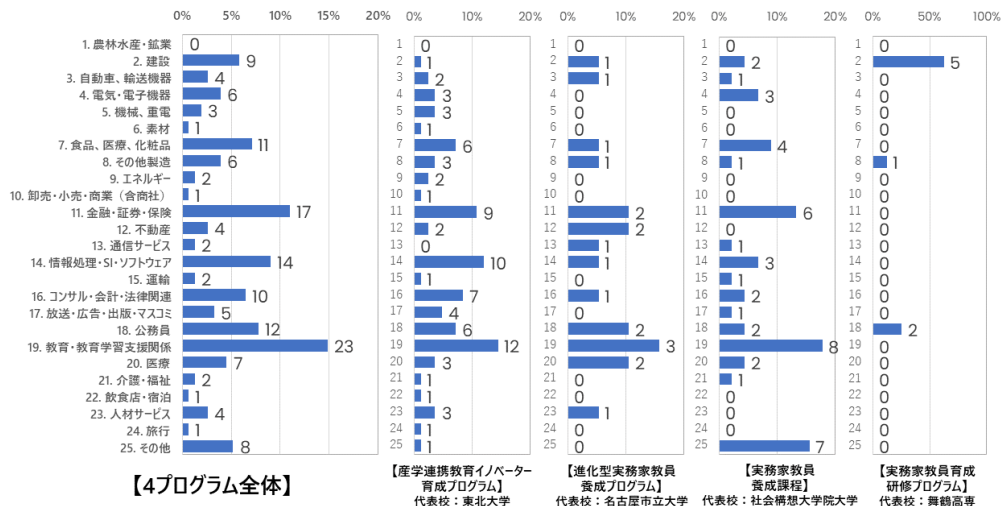
## 回答者属性：年齢



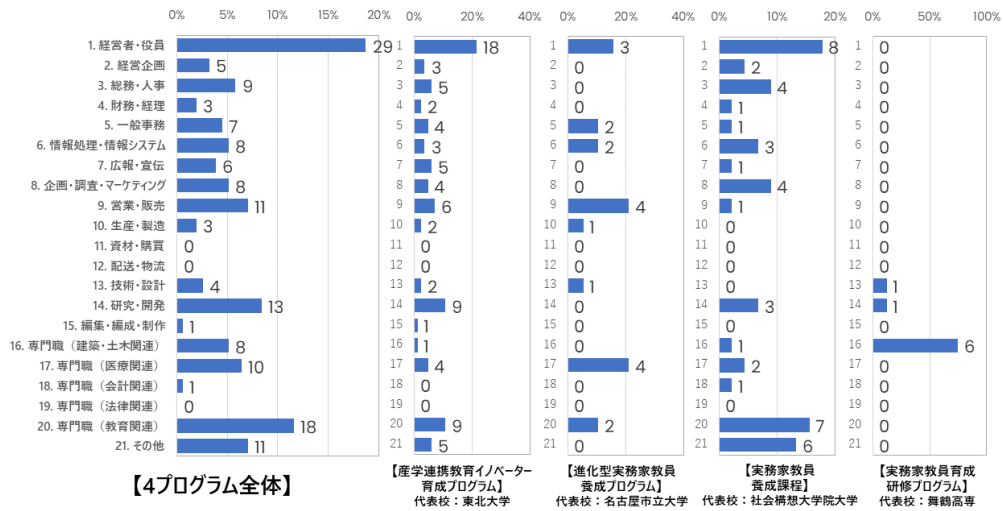
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
東	0	2	19	48	14	0	83
名	1	2	9	6	1	0	19
社	0	2	5	28	9	1	45
舞	0	1	2	4	0	1	8
合計	1	7	35	86	24	2	155



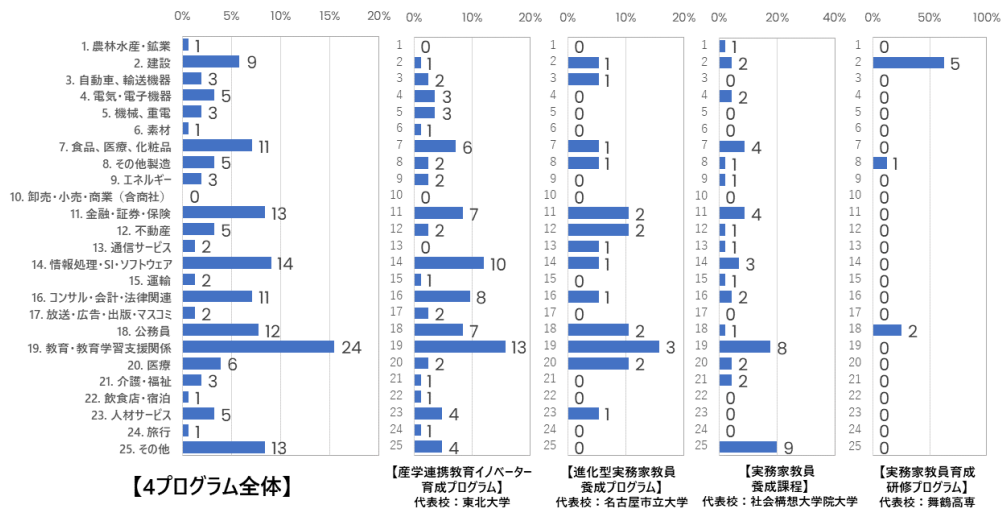
## 回答者属性：受講開始時の職業（業種）



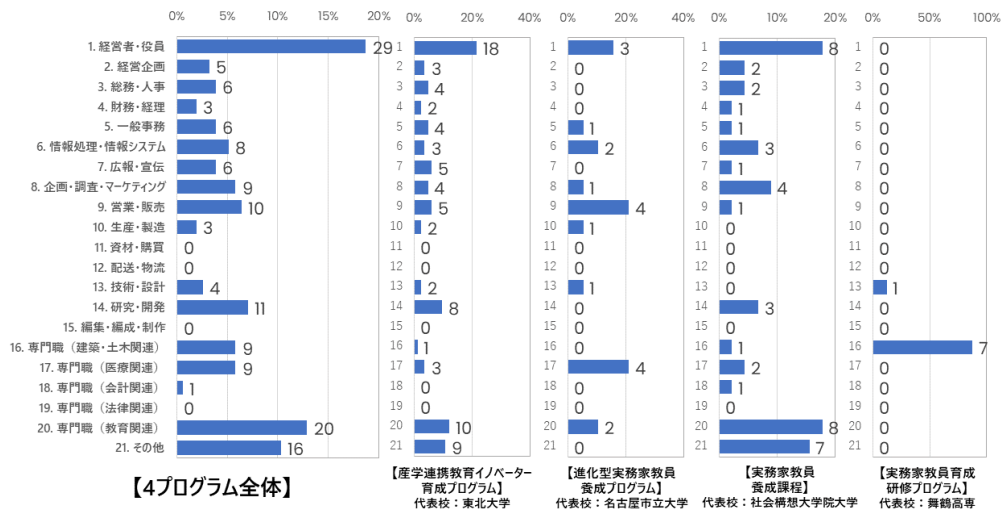
## 回答者属性：受講開始時の職業（職種）



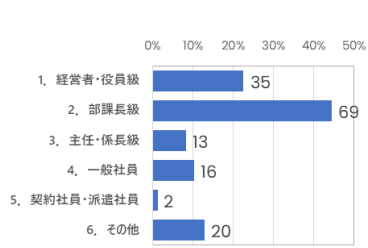
## 回答者属性：現在の職業（業種）



## 回答者属性：現在の職業（職種）

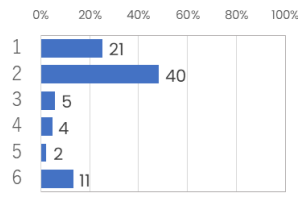


## 回答者属性：現在の役職

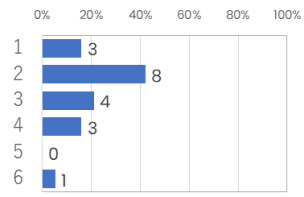


【4プログラム全体】

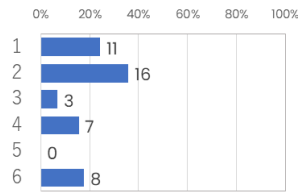
	1	2	3	4	5	6	合計
東	21	40	5	4	2	11	83
名	3	8	4	3	0	1	19
社	11	16	3	7	0	8	45
舞	0	5	1	2	0	0	8
合計	35	69	13	16	2	20	155



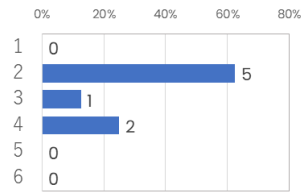
【産学連携教育イノベーション育成プログラム】  
代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
代表校：名古屋市立大学



【実務家教員養成課程】  
代表校：社会構想大学院大学

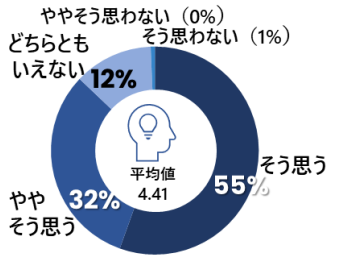


【実務家教員育成研修プログラム】  
代表校：舞鶴高専



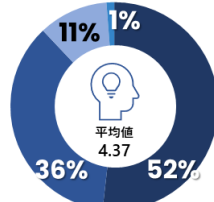
【学習レディネス】に関する問いへの回答

①受講前に、これから受講する研修プログラムの必要性を感じていた

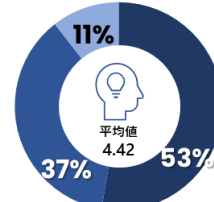


【4プログラム全体】

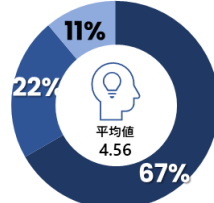
	思わ ない	ど ち ら と も	そ う 思 う	合 計
東	1	0	9	30
名	0	0	2	7
社	0	0	5	10
舞	0	0	3	2
舞	0	0	3	3
合計	1	0	19	49
				86
				155



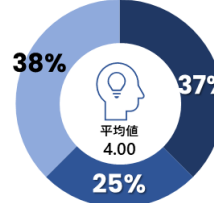
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
代表校：名古屋市立大学

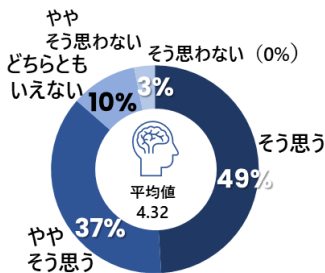


【実務家教員養成課程】  
代表校：社会構想大学院大学



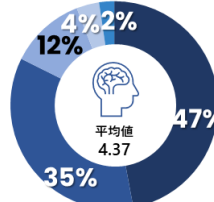
【実務家教員育成研修プログラム】  
代表校：舞鶴高专

②受講前に、どのような目的で研修プログラムが実施されるのか理解していた

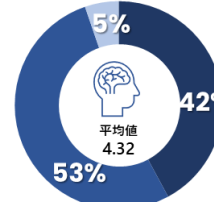


【4プログラム全体】

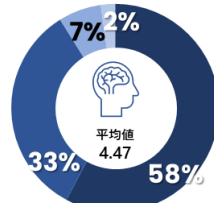
	思わ ない	ど ち ら と も	そ う 思 う	合 計
東	0	3	10	30
名	0	1	0	10
社	0	1	3	15
舞	0	0	3	3
舞	0	0	3	2
合計	0	5	16	58
				76
				155



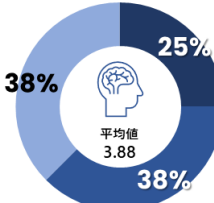
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
代表校：名古屋市立大学



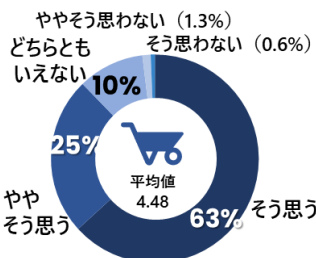
【実務家教員養成課程】  
代表校：社会構想大学院大学



【実務家教員育成研修プログラム】  
代表校：舞鶴高专

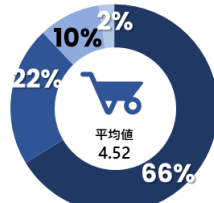
【実践意思】に関する問いへの回答

③受講後、研修プログラムで学んだことを職場や教育現場等で実践する機会を作ろうと努力した

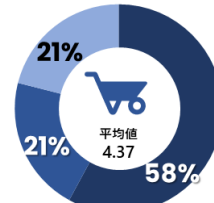


【4プログラム全体】

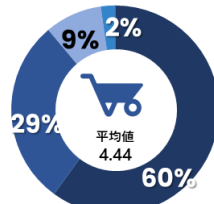
	思わ ない	ど ち ら と も	そ う 思 う	合 計
東	0	2	8	18
名	0	0	4	4
社	1	0	4	13
舞	0	0	0	3
舞	0	0	3	5
合計	1	2	16	38
				98
				155



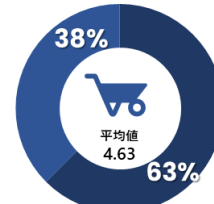
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
代表校：名古屋市立大学

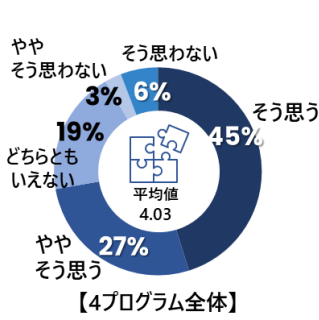


【実務家教員養成課程】  
代表校：社会構想大学院大学

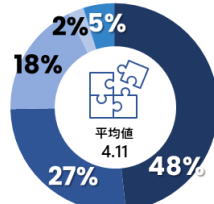


【実務家教員育成研修プログラム】  
代表校：舞鶴高专

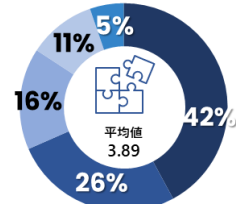
#### ④ 研修プログラムで学んだことを職場や教育現場等で実践する機会があった



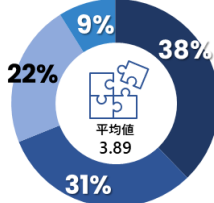
	思わない	どちらとも	そう思う	合計
東	4	2	15	22
名	1	2	3	5
社	4	0	10	14
舞	0	0	2	1
合計	9	4	30	42
				70
				155



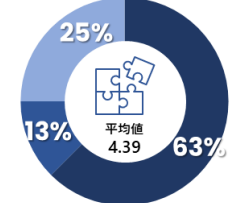
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
代表校：名古屋市立大学

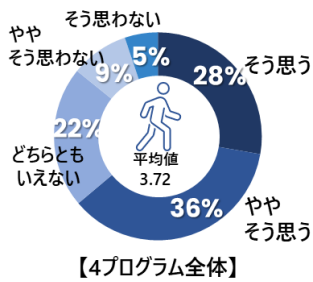


【実務家教員養成課程】  
代表校：社会構想大学院大学

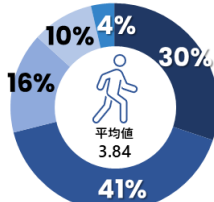


【実務家教員育成研修プログラム】  
代表校：舞鶴高専

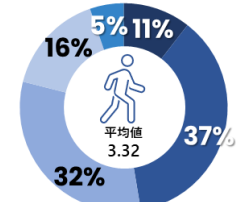
#### ⑤ 受講を契機に、高等教育機関等でのキャリア・チェンジに向けた動きを始めた又は本格化した



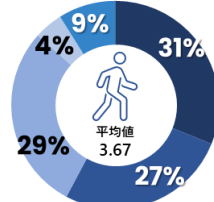
	思わない	どちらとも	そう思う	合計
東	3	8	13	34
名	1	3	6	7
社	4	2	13	12
舞	0	1	2	3
合計	8	14	34	56
				43
				155



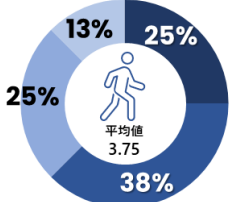
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
代表校：名古屋市立大学



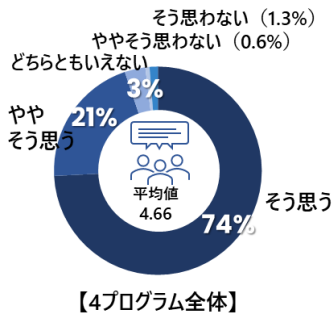
【実務家教員養成課程】  
代表校：社会構想大学院大学



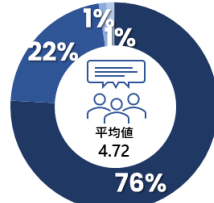
【実務家教員育成研修プログラム】  
代表校：舞鶴高専

#### 【研修メンバー】に関する問いへの回答

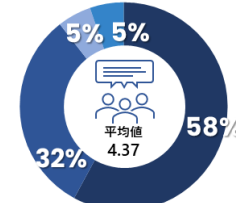
#### ⑥ 受講中、一緒に参加した受講者から学んだことがあった



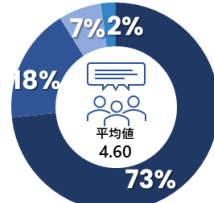
	思わない	どちらとも	そう思う	合計
東	0	1	1	18
名	1	0	1	6
社	1	0	3	8
舞	0	0	0	8
合計	2	1	5	32
				115
				155



【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
代表校：名古屋市立大学

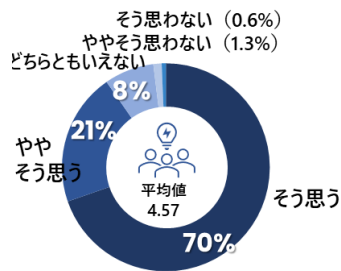


【実務家教員養成課程】  
代表校：社会構想大学院大学

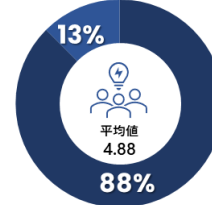
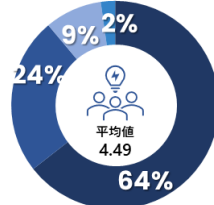
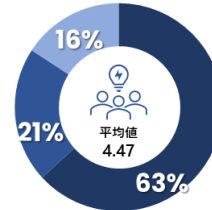
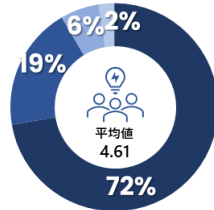


【実務家教員育成研修プログラム】  
代表校：舞鶴高専

⑦ 受講中、一緒に参加した受講者は自分の学習意欲により影響を与えた

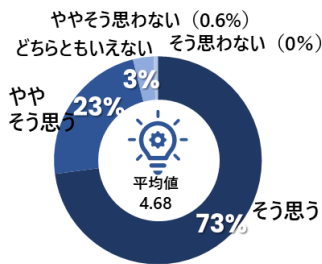


	思わない	どちらともいえない	そう思う	合計
東	0	2	5	16
名	0	0	3	4
社	1	0	4	11
舞	0	0	0	1
合計	1	2	12	32

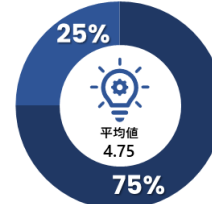
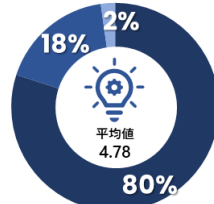
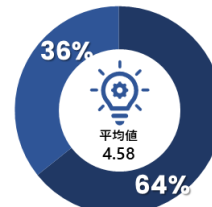
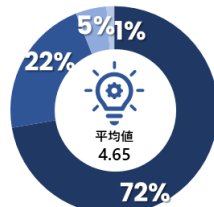


【受講環境】に関する問いへの回答

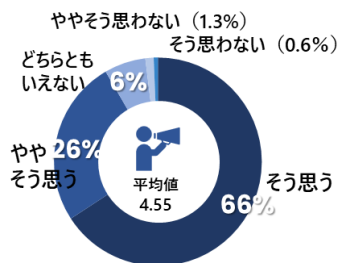
⑧ 研修プログラムに積極的に参加できた



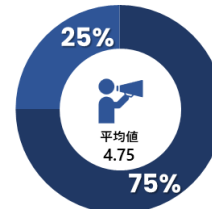
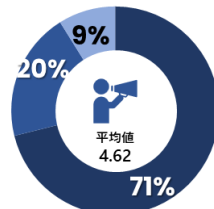
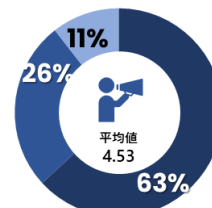
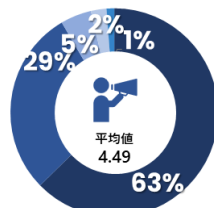
	思わない	どちらともいえない	そう思う	合計
東	0	1	4	18
名	0	0	0	8
社	0	0	1	8
舞	0	0	0	2
合計	0	1	5	36



⑨ 受講中は、思っていることを自由に発言できる雰囲気であった

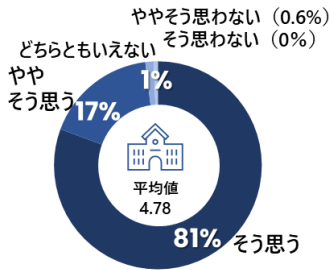


	思わない	どちらともいえない	そう思う	合計
東	1	2	4	24
名	0	0	2	5
社	0	0	4	9
舞	0	0	0	2
合計	1	2	10	40



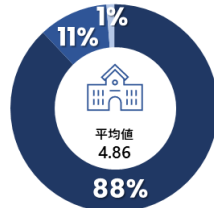
【実践レディネス】に関する問いへの回答

⑩ 受講により、高等教育の現状についての知識が増えた

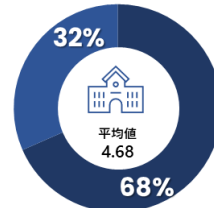


【4プログラム全体】

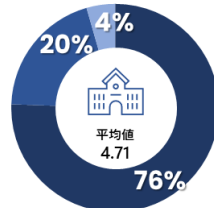
	思わ ない	ど ち ら と も い え な い	そ う 思 う	合 計		
東	0	1	0	9	73	83
名	0	0	0	6	13	19
社	0	0	2	9	34	45
舞	0	0	0	3	5	8
合計	0	1	2	27	125	155



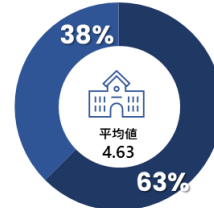
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
 代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
 代表校：名古屋市立大学

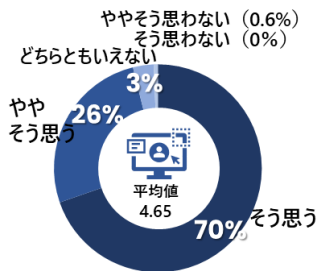


【実務家教員養成課程】  
 代表校：社会構想大学院大学



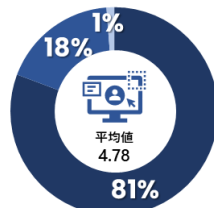
【実務家教員育成研修プログラム】  
 代表校：舞鶴高専

⑪ 受講により、授業設計や運営に必要なスキル・知識が身についた

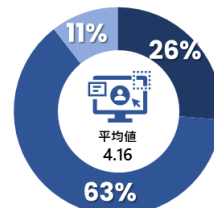


【4プログラム全体】

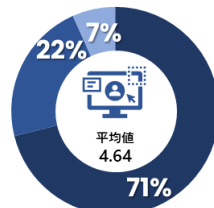
	思わ ない	ど ち ら と も い え な い	そ う 思 う	合 計		
東	0	1	0	15	67	83
名	0	0	2	12	5	19
社	0	0	3	10	32	45
舞	0	0	0	4	4	8
合計	0	1	5	41	108	155



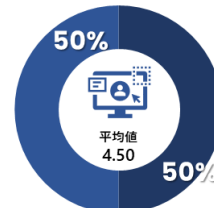
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
 代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
 代表校：名古屋市立大学

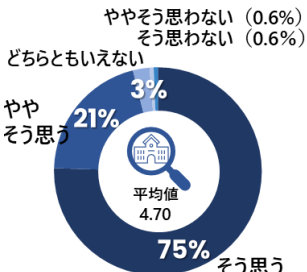


【実務家教員養成課程】  
 代表校：社会構想大学院大学



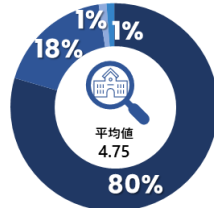
【実務家教員育成研修プログラム】  
 代表校：舞鶴高専

⑫ 受講により、高等教育に対して関心が向くようになった

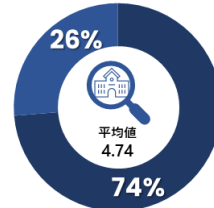


【4プログラム全体】

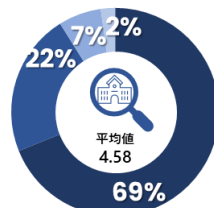
	思わ ない	ど ち ら と も い え な い	そ う 思 う	合 計		
東	1	0	1	15	66	83
名	0	0	0	5	14	19
社	0	1	3	10	31	45
舞	0	0	0	2	6	8
合計	1	1	4	32	117	155



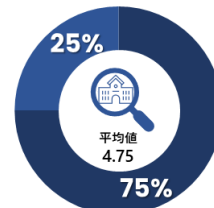
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
 代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
 代表校：名古屋市立大学



【実務家教員養成課程】  
 代表校：社会構想大学院大学

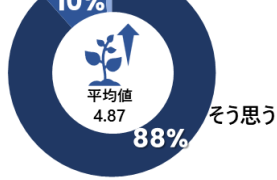


【実務家教員育成研修プログラム】  
 代表校：舞鶴高専

【成長意欲】に関する問いへの回答

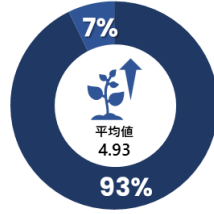
⑬ 今後も継続して、知識やスキルを修得したり能力を高めて、成長したいと思っている

ややそう思わない (0%)  
 どちらともいえない そう思わない (0%)  
 ややそう思う 10%  
 1%  
 88%  
 そう思う

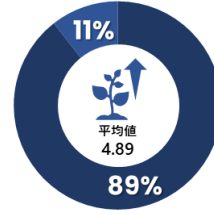


【4プログラム全体】

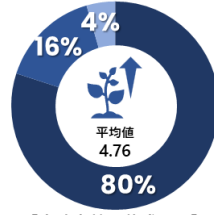
	思わ ない	ど ち ら と も	そ う 思 う	合 計
東	0	0	6	77
名	0	0	2	17
社	0	0	7	36
舞	0	0	1	7
合計	0	0	16	137



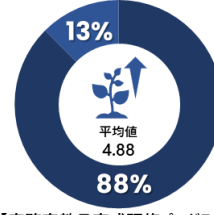
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
 代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
 代表校：名古屋市立大学



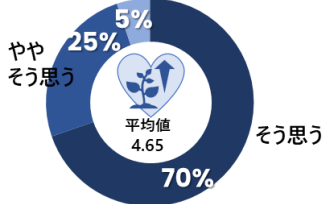
【実務家教員養成課程】  
 代表校：社会構想大学院大学



【実務家教員育成研修プログラム】  
 代表校：舞鶴高専

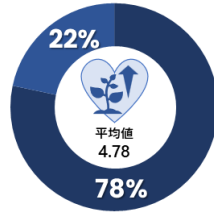
⑭ 今後も継続して、高等教育についてもっと学びたい、研究したいと思っている

ややそう思わない (0%)  
 どちらともいえない そう思わない (0%)  
 やや 25%  
 5%  
 70%  
 そう思う

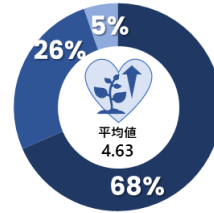


【4プログラム全体】

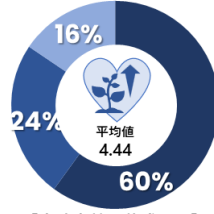
	思わ ない	ど ち ら と も	そ う 思 う	合 計
東	0	0	18	65
名	0	0	5	13
社	0	0	7	27
舞	0	0	5	3
合計	0	0	39	108



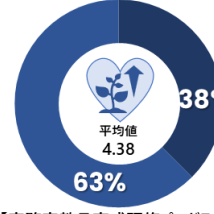
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
 代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
 代表校：名古屋市立大学



【実務家教員養成課程】  
 代表校：社会構想大学院大学

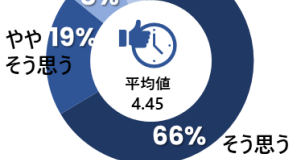


【実務家教員育成研修プログラム】  
 代表校：舞鶴高専

【研修マッチング】に関する問いへの回答

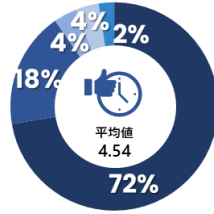
⑮ 受講中、自分のキャリアにとっていいタイミングで受講していると思った

ややそう思わない 8%  
 5%  
 19%  
 66%  
 そう思う

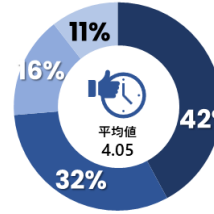


【4プログラム全体】

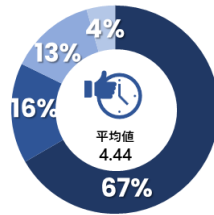
	思わ ない	ど ち ら と も	そ う 思 う	合 計
東	2	3	15	60
名	0	2	6	8
社	0	2	7	30
舞	0	0	2	5
合計	2	7	30	103



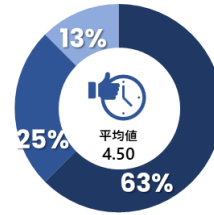
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
 代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
 代表校：名古屋市立大学

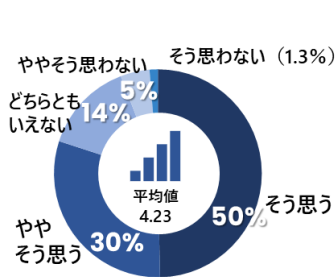


【実務家教員養成課程】  
 代表校：社会構想大学院大学



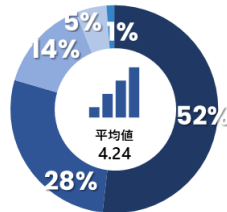
【実務家教員育成研修プログラム】  
 代表校：舞鶴高専

⑩ 受講中、研修プログラムの難易度は自分に適したレベルだと思っていた

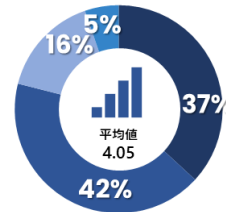


【4プログラム全体】

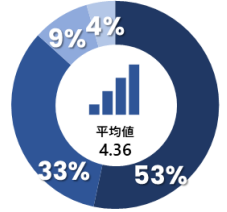
	思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う	合計
東	1	4	12	23	43
名	1	0	3	8	7
社	0	2	4	15	24
舞	0	1	3	1	3
合計	2	7	22	47	77



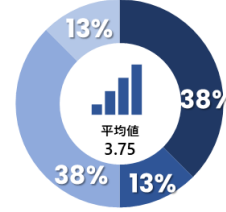
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
代表校：名古屋市立大学

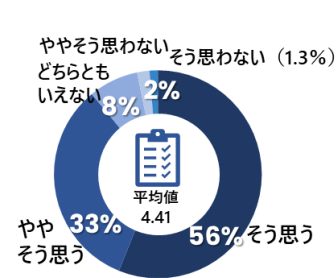


【実務家教員養成課程】  
代表校：社会構想大学院大学



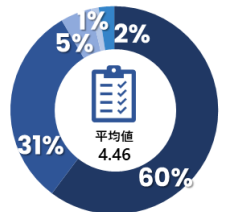
【実務家教員育成研修プログラム】  
代表校：舞鶴高専

⑪ 受講中、研修プログラムは自分が学びたいと思っていた内容だった

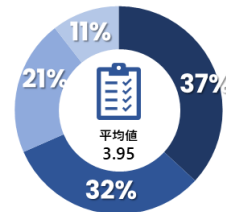


【4プログラム全体】

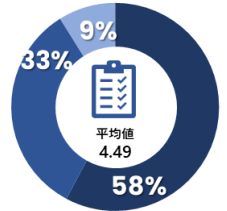
	思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う	合計
東	2	1	4	26	50
名	0	2	4	6	7
社	0	0	4	15	26
舞	0	0	0	4	4
合計	2	3	12	51	87



【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
代表校：名古屋市立大学

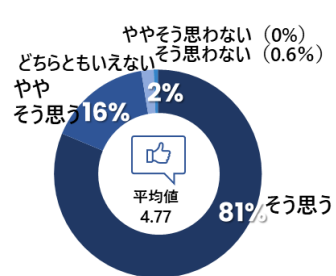


【実務家教員養成課程】  
代表校：社会構想大学院大学



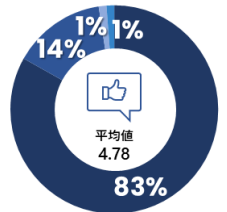
【実務家教員育成研修プログラム】  
代表校：舞鶴高専

⑫ 研修プログラムの受講は、有意義だった

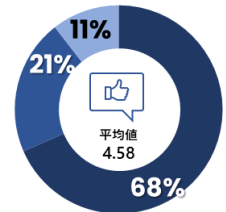


【4プログラム全体】

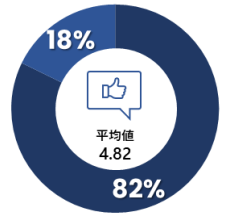
	思わない	どちらともいえない	ややそう思う	そう思う	合計
東	1	0	1	12	69
名	0	0	2	4	13
社	0	0	0	8	37
舞	0	0	0	1	7
合計	1	0	3	25	126



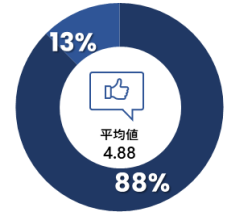
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
代表校：名古屋市立大学

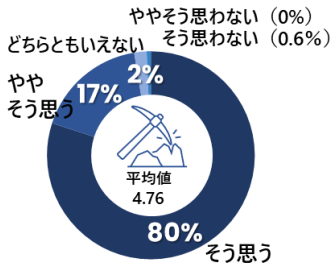


【実務家教員養成課程】  
代表校：社会構想大学院大学



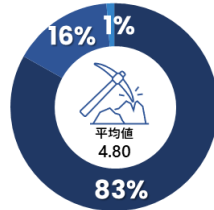
【実務家教員育成研修プログラム】  
代表校：舞鶴高専

⑱ 研修プログラムでの学びや経験は、今後の学習や活動に役立つと思う

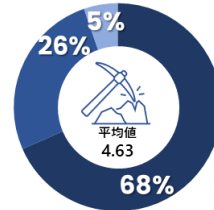


【4プログラム全体】

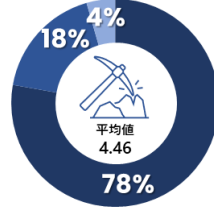
	思わ ない	どちら とも	そう 思う	合計
東	1	0	13	69
名	0	0	1	5
社	0	0	2	8
舞	0	0	0	1
合計	1	0	3	27
				124
				155



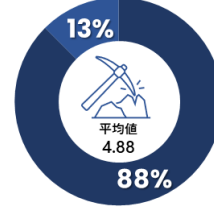
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
 代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
 代表校：名古屋市立大学



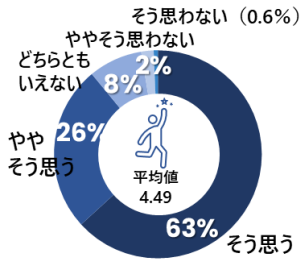
【実務家教員養成課程】  
 代表校：社会構想大学院大学



【実務家教員育成研修プログラム】  
 代表校：舞鶴高専

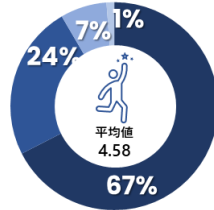
【職場への影響】に関する問いへの回答

⑳ 研修プログラムで学んだ知識やスキルには、現在の職場においても活用できるものがあった

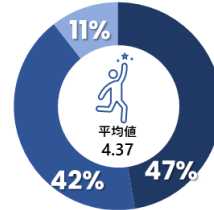


【4プログラム全体】

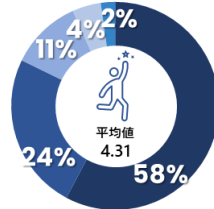
	思わ ない	どちら とも	そう 思う	合計
東	0	1	6	20
名	0	0	2	8
社	1	2	5	11
舞	0	0	0	1
合計	1	3	13	40
				98
				155



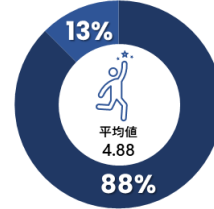
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
 代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
 代表校：名古屋市立大学

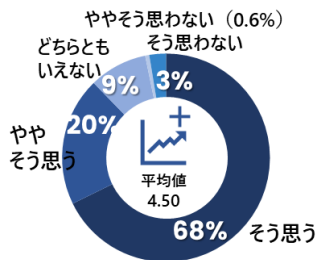


【実務家教員養成課程】  
 代表校：社会構想大学院大学



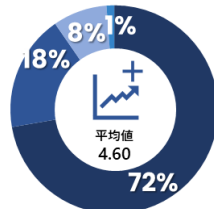
【実務家教員育成研修プログラム】  
 代表校：舞鶴高専

㉑ 研修プログラムに参加したことで、現在の仕事に何らかのプラスの影響があった

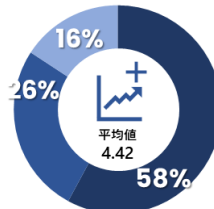


【4プログラム全体】

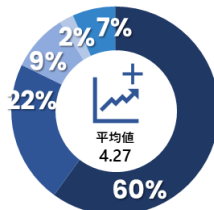
	思わ ない	どちら とも	そう 思う	合計
東	1	0	7	15
名	0	0	3	5
社	3	1	4	10
舞	0	0	0	1
合計	4	1	14	31
				105
				155



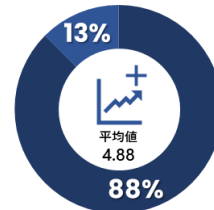
【産学連携教育イノベーター育成プログラム】  
 代表校：東北大学



【進化型実務家教員養成プログラム】  
 代表校：名古屋市立大学



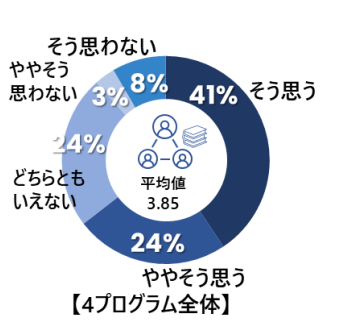
【実務家教員養成課程】  
 代表校：社会構想大学院大学



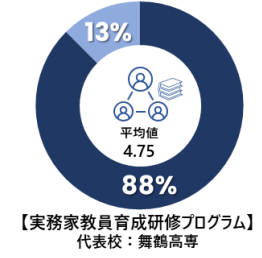
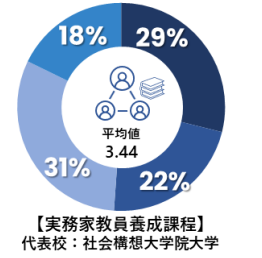
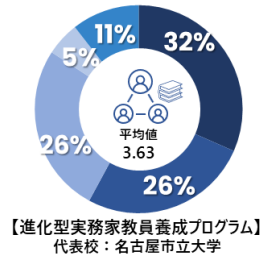
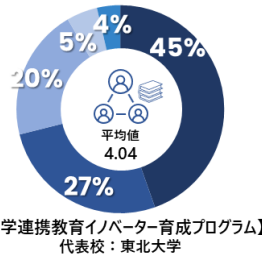
【実務家教員育成研修プログラム】  
 代表校：舞鶴高専

【研修後交流】に関する問いへの回答

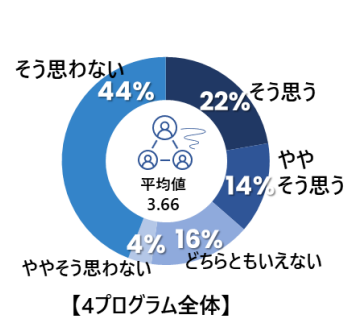
② 受講後、他の受講者と研修内容に関する情報交換を行った



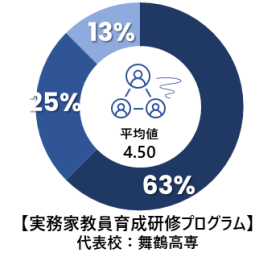
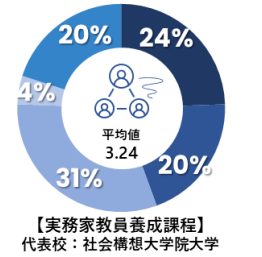
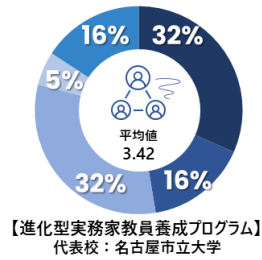
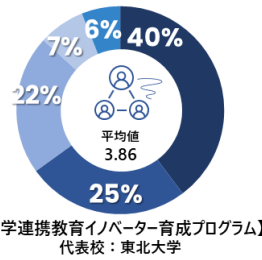
	思わ ない	どち らと も	そ う 思 う	合 計
東	3	4	17	22
名	2	1	5	5
社	8	0	14	10
舞	0	0	1	0
合計	13	5	37	63



③ 受講後、他の受講者と研修内容以外の情報交換を行った



	思わ ない	どち らと も	そ う 思 う	合 計
東	5	6	18	21
名	3	1	6	3
社	9	2	14	9
舞	0	0	1	2
合計	17	9	39	35





### 3 調査結果の考察

---

2019～2022 年度の研修修了者を対象として実施した第一回の調査では回答率が 49.9%であったが、今回の第二回調査では 66.0%と全修了者の過半数を上回る回答が得られた。結果の考察においては、第一回に関しては修了者によって研修終了からある程度期間が経過してからの調査実施であったことに対し、第二回調査は研修終了直後に実施しているという点を考慮する必要がある。

各調査項目の回答結果を表 4 に示す。表中の「①」は第一回調査、「②」は今回実施した第二回調査結果の回答の平均値を示す。また、「東北」は東北大学を代表校とする「産学連携教育イノベーター育成プログラム」、「名古屋」は名古屋市立大学を代表校とする「進化型実務家教員養成プログラム」、「社会構想」は社会構想大学院大学を代表校とする「実務家教員養成課程」、「舞鶴高専」は舞鶴高等専門学校を代表校とする「実務家教員育成研修プログラム」を修了した回答者の平均値を示す。

回答結果からは、項目 16 を除くすべての項目において、全体の回答の平均値が第一回の結果を上回っていることがわかる。項目「16. 受講中、研修プログラムの難易度は自分に適したレベルだと思っていた」に関しても第一回：4.24 が第二回：4.23 となっており、ほぼ横ばいであると言える。

「実践意欲」に関する項目「3. 受講後、研修プログラムで学んだことを職場や教育現場等で実践する機会を作ろうと努力した」「4. 受講後、研修プログラムで学んだことを職場や教育現場等で実践する機会があった」「5. 受講を契機に、高等教育機関等でのキャリア・チェンジに向けた動きを始めた又は本格化した」は、研修修了直後の調査実施であったこともあり、平均値が伸び悩むことが予想されたが、結果はそれに反し、第一回を上回るスコア（項目 3：①4.34→②4.48、項目 4：①3.68→②4.03、項目 5：①3.30→②3.72）となった。

最も伸びが大きかった項目は「22. 受講後、他の受講生と研修内容に関する情報交換を行った」であり、第一回：3.08 が第二回では 3.85 となった。これは、コロナ禍が明け、より対面で実施される研修項目が増えたり、懇親会や交流会が実施されたりするなど、受講者同士のコミュニケーションの機会が増加したこと、プログラム同窓生を交えた企画の実施や、その支援などが行われるようになったことも要因であると推察される。

以上のように、研修プログラムに対する修了者の評価は概ね高いことが改めて確認された。また、第一回調査結果を踏まえた改善を各拠点において実施した成果が第二回調査結果における平均値の上昇につながっていることが示唆された。

表 4. 第一回・第二回調査の回答平均値の比較

領域	項目	回答の平均値				
		全体	東北	名古屋	社会構想	舞鶴高専
学習 レディネス	1. 受講前に、これから受講する研修プログラムの必要性を感じていた	① 4.35	4.43	4.27	4.34	3.89
		② 4.41	4.37	4.42	4.56	4.00
実践意欲	2. 受講前に、どのような目的で研修プログラムが実施されるのか理解していた	① 4.28	4.33	3.80	4.29	4.22
		② 4.32	4.37	4.32	4.47	3.88
実践意欲	3. 受講後、研修プログラムで学んだことを職場や教育現場等で実践する機会を作ろうと努力した	① 4.34	4.34	4.07	4.34	4.44
		② 4.48	4.52	4.37	4.44	4.63
	4. 受講後、研修プログラムで学んだことを職場や教育現場等で実践する機会があった	① 3.68	3.61	3.73	3.66	4.39
研修 メンバー	5. 受講を契機に、高等教育機関等でのキャリア・チェンジに向けた動きを始めた又は本格化した	② 4.03	4.11	3.89	3.89	4.39
		① 3.30	3.39	3.20	3.29	2.67
研修 メンバー	6. 受講中、一緒に参加した受講生から学んだことがあった	② 3.72	3.84	3.32	3.67	3.75
		① 4.41	4.61	4.67	4.15	4.67
受講環境	7. 受講中、一緒に参加した受講生は自分の学習意欲により影響を与えた	② 4.66	4.72	4.37	4.60	5.00
		① 4.41	4.60	4.53	4.18	4.78
受講環境	8. 研修プログラムに積極的に参加できた	② 4.57	4.61	4.47	4.49	4.88
		① 4.63	4.67	4.80	4.58	4.67
実践 レディネス	9. 受講中は、思っていることを自由に発言できる雰囲気であった	② 4.68	4.65	4.58	4.78	4.75
		① 4.32	4.40	4.67	4.18	4.50
実践 レディネス	10. 受講により、高等教育の現状についての知識が増えた	② 4.55	4.49	4.53	4.62	4.75
		① 4.66	4.77	4.73	4.55	4.56
	11. 受講により、授業設計や運営に必要なスキル・知識が身についた	② 4.78	4.86	4.68	4.71	4.63
成長意欲	12. 受講により、高等教育に対して関心が向くようになった	① 4.51	4.58	4.27	4.45	4.61
		② 4.65	4.78	4.16	4.64	4.50
成長意欲	13. 今後も継続して、知識やスキルを修得したり能力を高めて、成長したいと思っている	① 4.49	4.69	4.27	4.33	4.33
		② 4.70	4.75	4.74	4.58	4.75
成長意欲	14. 今後も継続して、高等教育についてもっと学びたい、研究したいと思っている	① 4.75	4.86	4.80	4.66	4.56
		② 4.78	4.93	4.89	4.76	4.88
研修 マッチング	15. 受講中、自分のキャリアにとっていいタイミングで受講していると思った	① 4.42	4.86	4.80	4.66	4.56
		② 4.65	4.93	4.89	4.76	4.88
	16. 受講中、研修プログラムの難易度は自分に適したレベルだと思っていた	① 4.26	4.33	4.00	4.22	4.28
		② 4.45	4.54	4.05	4.44	4.50
	17. 受講中、研修プログラムは自分が学びたいと思っていた内容だった	① 4.24	4.36	4.00	4.17	3.94
18. 研修プログラムの受講は、有意義だった	② 4.23	4.24	4.05	4.36	3.75	
19. 研修プログラムでの学びや経験は、今後の学習や活動に役立つと思う	① 4.23	4.34	3.87	4.13	4.56	
職場への 影響	20. 研修プログラムで学んだ知識やスキルには、現在の職場においても活用できるものがあった	② 4.41	4.46	3.95	4.49	4.50
		① 4.60	4.76	4.73	4.41	4.78
研修後交流	21. 研修プログラムでの学びや経験は、今後の学習や活動に役立つと思う	② 4.77	4.78	4.58	4.82	4.88
		① 4.56	4.66	4.47	4.46	4.56
研修後交流	22. 受講後、他の受講生と研修内容に関する情報交換を行った	② 4.76	4.80	4.63	4.46	4.88
		① 4.07	4.13	4.13	4.31	4.33
研修後交流	23. 受講後、他の受講生と研修内容以外の情報交換を行った	② 4.49	4.58	4.37	4.31	4.88
		① 4.15	4.23	4.27	4.02	4.39
研修後交流	22. 受講後、他の受講生と研修内容に関する情報交換を行った	② 4.50	4.60	4.42	4.27	4.88
		① 3.08	3.05	3.73	2.97	3.83
研修後交流	23. 受講後、他の受講生と研修内容以外の情報交換を行った	② 3.85	4.04	3.63	3.44	4.75
		① 2.91	2.84	3.60	2.83	3.67
		② 3.66	3.86	3.42	3.24	4.50

## 参考文献

---

- 文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業 公募要領」  
[https://www.mext.go.jp/content/20220125-mxt\\_senmon02-000019852\\_8.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20220125-mxt_senmon02-000019852_8.pdf)、2024年2月29日確認)
- 文部科学省「行政事業レビュー」  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kouritsu/detail/1334066.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kouritsu/detail/1334066.htm)、2024年2月29日確認)
- 東北大学 高度教養教育・学生支援機 大学教育支援センター（2023）『実務家教員育成研修プログラム 実施4拠点統一指標による研修プログラム評価報告書』  
[https://jitsumuka.jp/wp-content/uploads/2023/07/4ProgramsEvaluationReport\\_230701.pdf](https://jitsumuka.jp/wp-content/uploads/2023/07/4ProgramsEvaluationReport_230701.pdf)、2024年2月29日確認)